

製材業におけるコンベアを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	回転していたローラーを右手で掴んだときに回転が止まり、被災者はローラーを掴んだままガタを説明しようとしたがローラーが回転し、架台、コンベアベルト、ローラーの間に右手を挟まれて被災した。	43	50～99
3	10～11	本社工場内で原木皮剥ぎ工程中、剥ぎ取った皮を搬送するベルトコンベアに皮が引っ掛かった為、それを取り除こうとしていたとき、左腕をコンベアに引き込まれ、左肘前後15cmの範囲と左肩を負傷する。	66	10～29
4	13～14	工場内丸太皮むき作業場で、皮をむき終えた丸太を受木台に落とす際、勢いがついて弾んだ丸太が受木台の上を転がり地面に落ちた。その丸太をローダーで拾い受木台に戻したが、端の方に置いた為、小石等異物を取り除いている時に丸太が転がり、台から左足に落ちた。	56	10～29
4	14～15	仕掛品を搬送装置で搬送するとき、中間の傾斜チェンコンベアのモーターのチェーンが脱輪したので修復し、現場から離れる際にモーター取り付け台角に右大腿部を強く打ち、3cm位切傷する。	88	1～9
5	13～14	木工場でライブローダーのオペレーターをしていた時、木材がライブローダーに詰まったのでそれを取ろうとした時、ライブローダーの手前にライブローダーを動かすチェーンがあり、チェーンを止めてから詰まった物を取らないと危険であるが、止めないで詰まった木材を取っていたところTシャツがチェーンにからみ、チェーンに体が巻き込まれた。	23	1～9
	9～	切断された製材を受取作業中、コンベアからチェーンローダへ流れずに製材が引っ掛かった。通常は機械を止めて反対奥側の階段をのぼって取り除き作業をするところ		10

5	10	ろが、コンベアのステージからチェーンローダのレールへ右足をかけて製材を取り除いた。体勢を戻そうとしたところ、左足がステージ上を滑り背中から転落し、後頭部と背中を強打した。	55	～ 29
5	16～ 17	被災労働者が木材を左右に移動する機械下の床を清掃中と知らず、他労働者が別場所から左移動のスイッチを押したため、機械補強部分と木材の間に右肘を挟み負傷する。本来なら一斉に清掃時間に入るが、被災労働者の都合により1人だけ早い時間から清掃作業に入る報告をしていなかったことや、確認不足が原因と考えられる。	27	～ 29
6	16～ 17	当社工場内ギャングプレーナー（製材加工機）を清掃中、チェーンに挟まった搬送された木片を取り外す時、右手中指と薬指を負傷した。	53	～ 29
7	16～17	工場内に於いて、廃材コンベア（幅約30cm、地上高35cm）で異音がしたため、音の出所を確認していた。廃材コンベアの横にあるカバーをめくって、右腕を差し入れたところ、ベルトコンベアのローラーに右腕が巻き込まれ、負傷した。	39	～ 49
10	8～9	当事者は、当社第二工場のカットした製品を搬送するコンベアの外れたチェーンを修復していた。しかし同時に作業していた別の従業員が、このチェーンを作動させるセンサーに触れたため、チェーンが動き出し指を挟まれた。	38	～ 29
11	15～ 16	皮むき作業中、丸太の径級が見えなかったため機械を動かしたまま、コンベアで流れてくる丸太の径級をとっていた。スケールをあてて径級をとった時、丸太が急に止まった為、コンベアの爪と丸太の間に右手の人差し指と中指を挟んでしまった。	55	～ 49
11	20～ 21	クライムコンベアのシャフト取り替え工事作業中の事故である。機械を停止させ、シャフトの取り替え作業を行っていたが誤って同僚が機械の起動スイッチに当たり、コンベアが起動し、右足を乗せていたバーが動き出して、足がそのままバーと一緒に動き出し、シャフトとバーの間に挟まれてしまった。すぐに機械を停止させ、怪我の様子を見て重傷と判断し救急車を要請した。（右足関節開放性脱臼骨折）	46	～ 99
12	11～12	皮剥き機の皮出しベルトコンベアのローラーに氷が付いて回らなくなったので、ハンマーで叩いて落とそうとした時、コンベアを止めていない為、手を滑らせた時に	48	～ 10

		手を持っていかれ、ベルトに手を挟んでしまった。		29
12	11~12	第2工場内の製材機（ツインソー）本体にある製材品搬送機（高さ170cm）で、板材が斜めになり搬送できないため、板材（3m×4cm×12.5cm）を右手で直そうとしたところ、下段にある製材品搬送機（高さ90cm）が回っているのを確認できず、チェーンに挟まれて左手第2指の先を負傷した。	49	30 ～ 49
12	15~16	帯鋸製材機で板を左に倒す部品の高さ調整をしている際、高さ1mのローラー台の端で作業をしていて、足を滑らせ落ちそうになったとき、右足太ももがダンパーの角に当たり負傷した。	43	30 ～ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)